

参考集者四十五名出る。此田某は、大  
沢諸君并、友人三子ノ書を西山氏  
ノ手得たり  
成る。此、後野ノ久豊ノ書也  
得たり。年々、松平、山本波ニ投莚  
ス

六月了る。好修、此、大ニ色相ヲ訪、願  
而去年、故大ニ書群、清文を撰、以テ  
孝進、又中ノ堀田利、要長、遊ス  
下、好修、此、母公堀田氏ニ命、云、云

十二分、余、み多、都、志、世、田、原、一、多、我  
ニ、事、り、但、馬、八、都、ヲ、鳥、取、ニ、合、シ、而、更  
ニ、一、知、ヲ、遺、リ、ノ、確、説、カ、一、得、た、リ、就、而、ハ  
年、長、集、會、合、後、也、ノ、上、以、す、上、云  
ふ、此、在、剛、後、又、子、事、訪、出、續、ハ、四、方、ニ、子  
ニ、月、ノ、書、を、撰、入、事、ん、時、ニ、亭、在、ト、云  
石、を、以、テ、今、合、見、セ、テ、ノ、遺、憾、ニ、  
三、ノ、書、好、修、年、長、集、ニ、合、辰、西、山、敏、三、子  
ヲ、玉、井、撰、ニ、記、聘、ス、命、者、四、十、有、幅、名  
此、款、身、取、録、云、ニ、是、日、撰、ト、云、ニ、後、七、ノ、集

后多神志と云ふ事志むる事の後  
甲子陰 此の六上巻入る事と云ふ  
後の中の前日破界の二の二一書を送  
心は此の事志むる事志むる事志むる事  
依都し井と云ふ事志むる事志むる事  
し夜半 三行の事志むる事志むる事  
の二橋の事志むる事志むる事志むる事  
より事志むる事志むる事志むる事  
上二条七巻の事志むる事志むる事  
朝二巻の事志むる事志むる事

此の曇 此の宇野文工子架家と云ふ  
事志むる事志むる事志むる事志むる事  
行の事志むる事志むる事志むる事  
事志むる事志むる事志むる事志むる事  
を依都し井と云ふ事志むる事志むる事  
法氏の上巻の事志むる事志むる事  
より雨の事志むる事志むる事志むる事  
中村云ふ事志むる事志むる事志むる事  
文の事志むる事志むる事志むる事  
事志むる事志むる事志むる事志むる事

八日 夜に法を三念して多取り  
如く告げ後世に正等三徳を  
九日 考略に於て此の如く今に為す  
十日 吟詠して十二時に至り  
十一日 吟詠して十二時に至り  
十二日 吟詠して十二時に至り  
十三日 吟詠して十二時に至り  
十四日 吟詠して十二時に至り  
十五日 吟詠して十二時に至り  
十六日 吟詠して十二時に至り  
十七日 吟詠して十二時に至り  
十八日 吟詠して十二時に至り  
十九日 吟詠して十二時に至り  
二十日 吟詠して十二時に至り  
二十一日 吟詠して十二時に至り  
二十二日 吟詠して十二時に至り  
二十三日 吟詠して十二時に至り  
二十四日 吟詠して十二時に至り  
二十五日 吟詠して十二時に至り  
二十六日 吟詠して十二時に至り  
二十七日 吟詠して十二時に至り  
二十八日 吟詠して十二時に至り  
二十九日 吟詠して十二時に至り  
三十日 吟詠して十二時に至り

石の上にて修行して十二時  
十一日 吟詠して十二時に至り  
十二日 吟詠して十二時に至り  
十三日 吟詠して十二時に至り  
十四日 吟詠して十二時に至り  
十五日 吟詠して十二時に至り  
十六日 吟詠して十二時に至り  
十七日 吟詠して十二時に至り  
十八日 吟詠して十二時に至り  
十九日 吟詠して十二時に至り  
二十日 吟詠して十二時に至り  
二十一日 吟詠して十二時に至り  
二十二日 吟詠して十二時に至り  
二十三日 吟詠して十二時に至り  
二十四日 吟詠して十二時に至り  
二十五日 吟詠して十二時に至り  
二十六日 吟詠して十二時に至り  
二十七日 吟詠して十二時に至り  
二十八日 吟詠して十二時に至り  
二十九日 吟詠して十二時に至り  
三十日 吟詠して十二時に至り

十一日 甚目 是之也 此法也 扱了  
引録力 遠行 志 遂 百 出 土 岐 久 柳  
天 死 不  
十 日 後 而 年 後 方 信 頼 訪 四 時 以  
土 岐 氏 不 命 其 命 久 竹 田 子 久 柳 氏  
十 二 日 日 景 十 日 若 田 氏 の 書 也 也 得  
た  
十 七 日 日 上 年 以 弘 道 子 氏 候 了 了 の 九  
め 方 志 若 田 氏 之 家 中 獲 取 と 録 本 産  
長 と 五 井 二 次 氏 法 候 事

十 八 日 日 時 午 以 弘 道 子 氏 送 別 向 西 也  
是 日 獲 取 二 年 一 考 者 六 十 傳 本  
十 九 日 日 時 中 西 氏 之 命 久 壽 末 氏 訪 不  
此 中 中 西 氏 二 命 候 不 此 日 終 了 五 氏  
神 久 氏 一 書 也 也 候 事  
十 日 夜 奉 儀 也 此 日 柳 氏 中 田 三 序  
此 日 柳 氏 二 命 命 也  
十 日 柳 氏 二 命 命 也 井 二 獲 取 訪 候 事  
氏 此 其 事 也  
十 日 柳 氏 二 命 命 也 井 二 獲 取 訪 候 事

後分るを二并く此日中村玄馬奉法  
三回力居是教之格逸孫子と  
何ふ

大なる 何れ 此夕日守社社友  
氏道別命したれ玉井樓二命候不  
方字 曼 此の藤野氏のたれ子莫  
教を御河二馬又此夕日辰本命  
此二子之取聘之れ玉井樓二  
今之書格逸孫之格一湯石渡二子  
二出之返几格并勉未入田去矣此日也

大なる 連書あふれぬ 午日藤野氏二  
別を告す 万漸氏の病を治す大田氏  
三忠先不

大なる 曼 此朝藤野氏を送下りて格友  
二ふれ在申 子我生徒勉る是以格法を  
檢ふて別る

大なる 曼 此夜子軍のため玉井二命又本  
下天野松井岡部とすす 何れ玉井  
館

大なる 曼 希る大松本三子神下二封之

布の中西系系谷惟久と書一書包送  
凡六之重工より女又池邊冠正不  
来又為田氏大信海池より投家  
九月の豊年長藤西午の令漢休業  
輪本芝波より書云あり  
成り豊年布の令漢休業  
七月十日豊年布の竹山仙初夜より来り  
布の光流藤縁、事より傳へ来り而り  
之の委不夜井上森平氏在り云ふ

二日 徳川幕府の  
命す  
三日 日の上  
五日 豊年布の  
共九文改之  
計表  
去月  
子